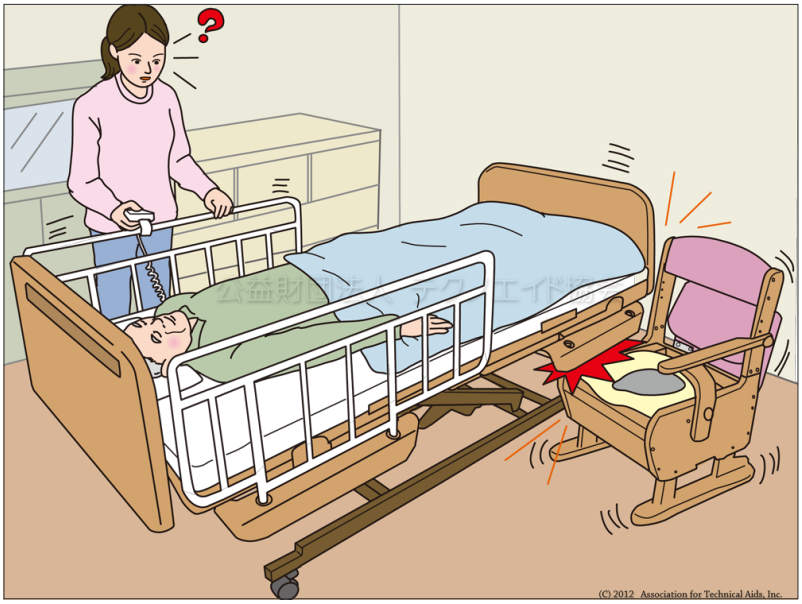
福祉用具ヒヤリハット情報

Case：47

ベッドの高さを下げたとき、脇にあったポータブルトイレを破損させる

場面の説明

介助者が、ポータブルトイレをベッドに近づけすぎてしまい、ベッドの床板下部にフレームの端が入り込んでいた



利用シーン	起居・就寝 移乗 排泄 リモコン操作
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	腰掛便座
分類コード(CCTA95)	091203(ポータブルトイレ)
介護テクノロジー	―
二次元バーコード	

解説

この状況では、ポータブルトイレの位置が介助者から死角になっていた様子がうかがえます。複数の介助者が関わる場合、床に印をつけてポータブルトイレの位置を決めておくなどの約束事をつくっておくことで、このようなリスクを軽減させることが可能です。

参考要因

人：利用者に気を取られ、周りへの注意を怠った
人：ベッドの昇降時、モノと接触する恐れがあることを説明していない
管理：ベッド周囲に物を置く際に、このような危険があることを周知する教育機会を設けていなかった

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.